

普通徴収 仕切紙

(個人住民税の普通徴収への切替理由書)

_____市・区・町・村長 あて

指定番号 _____ 事業所名 _____

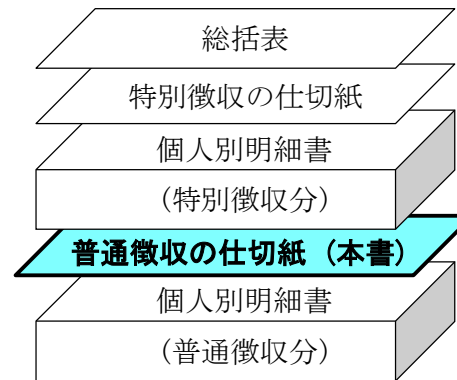
普通徴収として取り扱うべき給与受給者の人数と切替理由ごとの内訳は、以下のとおりです。

略号	切替理由(以下6項目以外の理由は不可)	人数
普A	総受給者数(普B～普Fを除いた合計)が2人以下	人
普B	他の事業所で特別徴収される者(例:乙欄該当者)	人
普C	給与が少なく税額が引ききれない	人
普D	給与の支払期間が不定期(例:給与の支払いが毎月ではない)	人
普E	普通徴収として扱う事業専従者(個人事業主の場合のみ該当)	人
普F	退職者・退職予定者(5月末日まで)	人
普通徴収合計人数		人

<留意点>

- この仕切紙は、普通徴収対象者(特別徴収できない方)の給与支払報告書(個人別明細書)の上に付けてください。(裏面「提出時の仕分け方」参照) 特別徴収のみの場合は不要です。
- 普通徴収とする場合は、**個人別明細書の摘要欄に略号(普A、普B等)を必ず記入してください。**(裏面「摘要欄記載例」参照) ただし、乙欄該当者と退職者(予定者含む)は、所定の欄にその旨の記入があれば省略可能です。**記入がない場合、特別徴収として取り扱います**ので御了承ください。
- 総括表の普通徴収対象者の人数とこの仕切紙の人数が一致することを必ず確認してください。
- 普A～普Fの6項目以外の切替理由は認められません。**
- 同一の項目が記入されていれば、任意の様式でも構いません。

<提出時の仕分け方>



※ホチキス止めはせず、クリップ、輪ゴム等でまとめてください。

<摘要欄記載例>

(摘要)

普F

該当する略号を必ず記入してください。

乙欄該当者と退職者(予定者含む)は、所定の欄に記入あれば、略号は不要です。

生命保険料の金額の内訳	円	介護保険料	円	配偶人税金	円	旧個人年金保険料の金額	円			
住宅ローン等特別控除の額の内訳	円	住宅ローン等特別控除の額	円	国民年金保険料等の金額	円	旧長期優待保険料の金額	円			
控除対象配偶者	(フリガナ) 氏名	区分	配偶者の合計所得	円	基礎控除の額	円	所得金額調整控除額	円		
1	(フリガナ) 氏名	区分	1	(フリガナ) 氏名	区分	5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号				
2	(フリガナ) 氏名	区分	2	(フリガナ) 氏名	区分	5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号				
3	(フリガナ) 氏名	区分	3	(フリガナ) 氏名	区分					
4	(フリガナ) 氏名	区分	4	(フリガナ) 氏名	区分					
未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄特別	その他	寡婦	ひとり親	勤労学生	中途就・退職	受給者生年月日
									退職 年 月 日	元 号 年 月 日
									0 6 3 31	

個人番号又は個人番号 (女性に記載してください。)